

# 夢かなってク 通信

～ かなテク西部に入校し、自分の夢をかなえた方のメッセージです ～

## 好きなことを仕事に

木材加工コース H・Mさん (27歳 女性)

ものづくりが好きだった私が就いた仕事は接客業。

好きな仕事にチャレンジするため西部総合職業技術校の木材加工コースを選びました。

木材が家具になるまでの工程がすべて学べるだけではなく、いくつもの会社を見学することで、本当にやりたいことを見つけることが出来ました。

私は今、好きな仕事、憧れていた家具製造の仕事をしています。

幼い頃から、ものづくりが好きだった私は、いつか仕事としてものづくりがしたいと思ってきました。

しかし、実際は学生時代にアルバイトで始めた接客業の仕事をしていました。

いつかいつかと思っているだけではダメだと思い、好きだった家具の製造や、修理の会社の求人にいくつか応募しましたが、全て書類で不採用でした。

どうしたらいいのか立ち止まってしまっている時に聞いたのが、

職業訓練校の話でした。

正直、こんな学校があることさえ知らなかった私は、最初は不安でネットで調べてから、神奈川県立西部総合職業技術校のオープンキャンパスに行ってみることにしました。

話を聞いているうちに、漠然と思っていた、好きなことを仕事にするとということが、現実味を帯びてきたことを感じました。

入りたかった世界への入り口を見つけたような感覚にワクワクした私は、すぐに次の入学試験を受けることに決めました。

入学後は、毎日好きなことを勉強する日々が楽しくてしょうがなく、うまくいかないことも先生方に丁寧に教えていただいたり、同じクラスになった様々な年齢や経歴の人と話したりすることで解決していきました。

私は今、希望の会社に就職し、改めて技術校に行ってよかったと思っています。

実際に手を動かして作業する実習はとても勉強になりました。それまで触ったこともなかった道具の扱いや手入れは、今でも技術校で学んだ通りに行っています。

私が入った木材加工コースでは、木材から家具を作り、塗装や金物の取付けまで行いました。一つの家具を作る全体像がわかることで、仕事では、自分の担当していない部分も含め、製品の完成を見越して作業をすることができるようになりました。

何より、切削や塗装の原理を学べたことは、働き始めてからその重要性に気づきました。

それは、仕事の場ではいちいち説明されるものではありません。しかし、知識として知っていることで、自分で考えることができるようになったからです。

職場では、上司や先輩にたくさん質問し、できるだけ多くの指示やアドバイスをいただけるよう努めています。それらを聞いて、ただ言われた通りに作業するのではなく「だからこうするのか」「こうしたいからこれが必要なのか」と考え、納得しながら作業していくことで、次はどうすればいいかを自分で考えることができるからです。

もし、技術校で学んだ一年がなかったら、言われたことをただやり、なぜその作業が必要なのかを理解できずに仕事に飽きてしまうこともあったのかもしれませんが。

さらに、就職活動においては、いくつもの会社見学に行けたことはとてもいい経験になったと思います。

一人で就職活動をしていては出会えなかったであろう企業を、実際に見て話を聞くことができました。

家具の会社でも特色や設備は様々で、どんな仕事がしたいかある程度決まっていた私も、いろいろなパターンを知った上で、本当にやりたいことについて向き合うことができました。

好きなことを仕事にする。

それは、私自身ずっと憧れてきたことでした。

しかし、きっと好きだけでは長く続けていくことはそう簡単ではなかったと思います。

きちんと学び、知る。そうすることで、この先長く好きなことを仕事として向き合っていくことができると私は思います。